

市民一体化復興促進基金条例に基づく「市民の一体感の醸成に必要と認める鹿島区の事業」について

1. 事業検討の経緯

6月議会定例会において議決された市民一体化復興促進基金条例第6条第1項第2号に規定する「市民の一体感の醸成に必要と認める鹿島区の事業（以下「市民一体感醸成事業」という。）について、鹿島区地域協議会及び鹿島区行政区長会の意見聴取、庁内各課の事業提案、鹿島区内各種団体からの意見等を踏まえ、市民一体化復興促進事業市民検討会（以下「市民検討会」という。）において、実施事業の検討を行った。

月 日	内 容
6月27日	市議会において市民一体化復興促進基金条例可決
28日	鹿島区地域協議会において実施事業の検討依頼
7月4日	鹿島区行政区長会連絡会議において実施事業の検討依頼
5日	鹿島区各地区まちづくり委員会へ実施事業の検討依頼
10日	庁内各課へ実施事業の提案依頼 (提出期限：～7月31日)
19日	鹿島区行政区長会役員会において実施事業の意見聴取
20日	市民一体化復興促進事業市民検討会設置要綱制定
24日	鹿島区地域協議会において実施事業の意見聴取
30日	鹿島区地域協議会委員へ提案事業の報告及び追加提案事業の提出依頼
31日	鹿島区行政区長へ提案事業の報告及び追加提案事業の提出依頼
8月20日	第1回市民一体化復興促進事業市民検討会
9月25日 ～10月5日	行政区長個別懇談会において実施事業の意見聴取
9月26日	第2回市民一体化復興促進事業市民検討会
11月1日	第3回市民一体化復興促進事業市民検討会
11月6日	市民一体化復興促進事業市民検討会の検討結果を市に報告・提言

(参考)

月 日	内 容
6月11日	鹿島区若手職員による第1回市民一体感醸成事業検討ワークショップ

21日	第2回市民一体感醸成事業検討ワークショップ
28日	第3回市民一体感醸成事業検討ワークショップ

鹿島区において、若手職員の意識改革を目的に実施したワークショップで出された意見についても、検討会における事業検討の対象とした。

2. 市民一体化復興促進事業市民検討会構成員

鹿島区地域協議会2人、鹿島区行政区長会4人、鹿島区各地区まちづくり委員会4人、商工観光関係団体1人、老人クラブ1人、社会福祉協議会1人、消防団関係1人及びスポーツ関係団体1人の15人で、市民検討会を構成し、実施事業の検討を進めてきた。

3. 高速道路通行料金助成事業について

市民一体化復興促進基金条例第6条第1項第1号に規定する高速道路通行料金助成事業については、8月10日に申請書等の関係書類を対象者に発送、以降申請の受付、登録の決定を行い、10月1日から高速道路の利用を開始している。

11月21日現在の登録決定者数は4,681人であり、対象者数の約64.5%となっているが、今後の申請は最大5,000人と見込んでいる。

4. 市民一体感醸成事業の充当額

市民一体化復興促進基金として、10億3千万円を積み立てたところであるが、今後の各事業の見込み額は次のとおりである。

高速道路通行料金助成事業については、今後の助成対象数の見込みである5,000人分の助成金(1人当たり2年間で10万円)に、業務を遂行する上で必要な事務費を加え、5億3,600万円の支出を見込んでいる。

よって、市民一体感醸成事業については、10億3千万円の残りの4億9,400万円を充当することとし、実施事業の検討を行った。

(単位：千円)

事業名	当初	今後の見込み	差
基金積立額	1,030,000		
高速道路通行料金助成事業	780,000	536,000	244,000
市民一体感醸成事業	250,000	494,000	244,000

5. 市民一体感醸成事業として実施する事業について

実施事業について、市民検討会で検討した結果、ソフト事業48件、ハード事業32件の合計80件の事業が市民検討会からの提案事業とし、市に提言されたところである。

市においては、その提言を基に、事業の有効性や実現可能性、予算規模等を関係各課と協議し、さらに市民の一体感醸成に寄与する事業であることを十分に踏まえた上で、次の事業を選定したところである。

(単位：千円)

事業名	概算事業費	事業期間
(仮)健康づくりトレーニングセンター整備事業	350,000	H31～32 (H33～指定管理料)
高齢者の集い事業補助金	10,000	H31～32
市民提案型一体感醸成事業補助金	20,000	H31～32
(仮)真野川親水サイクリングロード整備事業	114,000	H31～32
計	494,000	

(仮称)健康づくりトレーニングセンター整備事業

(1) 目的

市民の健康づくりや体力づくりを推進し、ひいては健康長寿や生活習慣病の解消などによる医療費や介護保険料の削減に資するとともに、市民の健全な心身の構築を図る。

(2) 選定理由

- ・ 市民検討会に加え、地域協議会や行政区長会の複数から出された意見である。
- ・ 以前に議会に対し請願が出された経過がある。
- ・ 子どもから高齢者までの幅広い年齢層に対する施策である。
- ・ 高齢化社会にあって、健康志向の高まりや健康長寿への対応として効果が期待できる。
- ・ 健康増進、体力向上や競技力向上をはじめ、医療費抑制の効果も期待できる。
- ・ 同類の施設が原町区、小高区に整備されているが、鹿島区は未整備である。

(3) 事業概要

トレーニングセンター建設工事 1棟 (A = 約280㎡)
(トレーニングルーム、更衣室兼ロッカー室、シャワー室、
トイレ)

トレーニング器具整備

(ランニングマシン、エアロバイク、筋力トレーニングマシン等)
インストラクターや保健師などを配置することで、利用者個々の
ニーズに応じたメニューの対応

(4) 概算事業費(後年度負担を含む)

350,000千円

(費目:地質調査業務委託料、実施設計業務委託料、トレーニング
センター建設工事費、外構工事費、トレーニング器具購入、
指定管理料)

(5) スケジュール

平成31年度 地質調査、実施設計
建設工事着工

32年度 建設工事完成

33年度 指定管理者による管理運営

(6) 市民の一体感醸成へのつながり

市民がともに共通の空間で目的を共有し交流することにより、心
身ともに健康を維持しつつ明日への活力となり、互いに協力しながら
復興に前向きに取り組む意欲が創出され、一体感の醸成につながる。

(7) 後年度負担

当該施設は、指定管理者による管理運営とし、利用料金収入により
運営していく予定であるが、運営が軌道に乗るまでの期間において
は指定管理料の支出が必要になると考える。

年間利用者見込数 30,000人(1日平均80人)

原町生涯学習センター内トレーニングルームの年間利用者数
29,705人(平成29年度実績)

年間収入見込額 10,000千円

利用料350円×利用者見込み数30,000人

利用料は、施設利用料300円、シャワー使用料50円を
見込む

年間支出見込額 25,000千円

人件費(インストラクター、施設管理人等)15,000千円
保健師については、市職員での対応

物件費(光熱水費、施設管理委託料等) 10,000千円

施設の管理運営手法

当該施設は、指定管理者による管理運営とする。

高齢者の集い事業

(1) 目的

高齢者が集まる機会を創出し、互いの近況報告など会話を通して楽しい時間を過ごすことで、高齢者自らが生きがいを持てる生活の向上に努める意欲を高める。

(2) 選定理由

- ・ 鹿島区全体での敬老会の開催を望んでいる声も多く、市民検討会においても複数から意見として出された事業である。
- ・ 高齢者も高速道路通行料金助成事業の対象となっているものの、高齢者のみ世帯などは申請されていない状況にあり、別な形での支援を望む声も挙がっている。
- ・ 鹿島区での敬老会の実施は、一部の地区に限られており、また行政区内の老人会活動も希薄している中で、高齢者同士が互いに交流する機会が求められている。
- ・ 高齢者が集まり、互いに交流を深めることで、より多くの高齢者が生きがいを持った生活をおくることが期待できる。

(3) 事業概要

75歳以上の鹿島区の高齢者を対象に、著名人による歌謡ショーや講演会、地元の子どもたちや団体等によるアトラクション、交流会等を実施する。

(4) 対象者（平成30年9月末現在）

鹿島区在住の75歳以上の高齢者 1,859人

(5) 事業実施方法

行政区長会、老人クラブ、民生委員、社会福祉協議会及び市で構成する実行委員会を組織し、補助金により事業を実施する。

(6) 概算事業費

10,000千円

（費目：事業補助金）

(7) スケジュール

平成31～32年度 事業実施

(8) 市民の一体感醸成へのつながり

高齢者が集まる機会が創出され、時間を共有し交流を深めることで、高齢者間の一体感が醸成される。

(9) 事業の継続

平成33年度以降の当該事業の実施については、各地区まちづくり委員会交付金を活用するなどし、市民が自主的に実施する事業へ移行していく。

市民提案型一体感醸成事業補助金

(1) 目的

地域の賑わい創出や魅力発信、地域課題（少子高齢化、安全・安心及び生活環境等）の解決等により、市民の一体感が醸成される提案型事業を自主的に実施する市民活動団体等に対し、その事業に要する経費を補助する。

(2) 選定理由

ソフト事業として、祭りやスポーツ大会の復活、イベントの実施、花いっぱい運動などが挙げられたが、これらを行政で対応するのではなく、市民や団体等が主体となり自主的に企画から運営までを行うことで、新たな発想でより魅力的な事業となることが期待でき、かつ市民の達成感（満足感）も醸成され、その成果が今後の自発的なまちづくりにつながる。

(3) 補助の対象となる団体

市内を主な活動の範囲とする市民活動団体等で、次の要件をすべて満たす団体を対象とする。

5人以上で構成される団体等で、構成員のうち3分の2以上が市内に在住、在勤又は在学する者であること。

自主的・主体的に活動している団体等又は活動することが見込まれる団体等であること。

構成員に、南相馬市暴力団排除条例（平成24年南相馬市条例第23号）第2条第2号及び第3号に規定する暴力団員及び暴力団等を含まない団体等であること。

特定の政治、思想及び宗教の活動を主たる目的とした団体等でないこと。

(4) 補助対象となる事業

市民活動団体等が公益性の高い取り組みで、次年度以降も継続して実施されるもの又は実施が見込まれる事業を対象とする。この場合において、提案事業が既に継続的に行われている事業であるときは、先に実施した内容に比して事業の質を高め、かつ発展した内容であると認められる事業に限る。

また、集客する事業にあっては、南相馬市鹿島区の区域を会場として実施される事業に限る。

ただし、公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがある事業、国又は地方公共団体等が支出する他の補助金の交付又は交付決定を受けている事業は、補助の対象としない。

(5) 補助率・補助上限額

補助率 10 / 10 以内

補助上限額 1事業当り200万円を上限とする。

- (6) 事業実施方法
南相馬市市民提案型一体感醸成事業補助金交付要綱を制定し、補助事業者を募り事業を実施する。
事業の認定にあたっては、認定委員会を組織し、事業内容を審議の上、決定する。
- (7) 概算事業費
20,000千円(2,000千円×10団体)
(費目：事業補助金)
- (8) スケジュール
平成31～32年度 事業実施
- (9) 市民の一体感醸成へのつながり
市民や団体等が主体となり、自らが提案した一体感醸成事業とともに協力し合いながら実施することで、市民相互の強い絆と一体感が醸成される。

(仮称)真野川親水サイクリングロード整備事業

- (1) 目的
セデッテかしまから街なか及び牛島地区へ、真野川河川敷を活用しサイクリングロードを整備することで、市民の自転車による健康増進に寄与するとともに、地域の活性化及び交流人口の拡大を図る。
- (2) 選定理由
- 健康づくりの視点からのサイクルイベントの開催やサイクリングロードの整備に加え、真野川河川敷を活用した親水空間整備を望む意見が市民検討会を始め、地域協議会や区長会の複数から出された。
 - 日ごろの運動不足による筋力低下や肥満の予防とともに、水辺空間での癒しによる気分転換等により、市民の健康維持、さらには健康増進に寄与することが期待できる。
- (3) 事業概要
サイクリングロード整備(舗装工)
L=3.0km、W=3.0m(総延長11kmのコース)
- (4) 概算事業費
114,000千円
(費目：測量設計業務委託料、舗装工事費、案内看板設置)
- (5) スケジュール
平成31年度 測量設計
32年度 建設工事着工・完成
- (6) 市民の一体感醸成へのつながり
サイクリングを通じて、日ごろの運動不足の解消や水辺空間での癒しによる気分転換等により、市民の健康増進が図られるとともに、

サイクリングを通じた交流が創出され、市民相互の一体感が醸成される。

また、本市への来訪者との交流機会も創出されることで、交流人口拡大と地域活性化につながる。

(7) その他

レンタサイクルの導入についても、財源を含め検討する。

また、牛島地区と合わせて整備を進めることで、さらなる当該事業の整備効果が期待できる。

市民一体化復興促進事業に関する提案一覧（後期基本計画施策体系分類）

基本施策の柱	施策区分	市民検討会等での意見提言	
		ソフト事業	ハード事業
未来を支える子どもたちを生き育てることができるまち（子育て・教育）	(1) 子育て環境の充実	子育て支援・少子化対策の推進	みんなの遊園地&自然公園整備(セデッテ隣接)
	(2) 学校教育の充実	英会話のできる英語学習の仕組みづくり	
	(3) 教育環境制度の整備		学習スペースを備えた書店整備 街なか図書館の整備
誰もが生きがいを持って健康やかに暮らすことができるまち（医療・健康・福祉）	(1) 地域医療の充実	不均一是正の医療費助成	
	(2) 地域包括ケアシステムの深化・推進		
	(3) 健康づくりの推進	健康・観光・環境サイクルツーリズムイベント（K.K.Kかしまサイクルロードレース）	健康づくりジム整備 トレーニングセンター整備(インストラクターも) 健康づくりトレーニングセンター整備(2) 健康づくりウォーキング・サイクリングコース整備
	(4) 福祉の充実	鹿島区全体での敬老会開催 鹿島区敬老会の開催(3) 高齢者支援互助制度による健康長寿	高齢者が気軽に楽しめる温浴施設整備
	(5) 生涯学習・スポーツ環境の充実	スポーツ振興・スポーツイベント復活 スポーツ振興による体力づくり健康増進	真野小跡地グラウンドの整備(芝生化) 千倉グラウンド・テニスコート再整備 みちのく鹿島球場サブグラウンド整備・夜間照明 真野川河川敷活用スポーツ広場整備 みちのく鹿島球場サブグラウンド整備(2) 前川原グラウンド再整備
地域産業の未来の可能性を拓く担い手が集えるまち（産業・観光交流）	(1) 商工業の再興	腰負担軽減ロボット活用促進補助制度創設 ロボットのまち推進助成制度構築 産業文化祭の拡大拡充による産業振興 ロボットコンテスト・ドローン競技大会(高額賞金) バーチャル商店街整備支援	
	(2) 農林水産業の再興	風評払しょく「みなと・さかなまつり」開催 自然栽培でのブランド化による農業再生 南相馬ブランド開発&情報発信 ボランティア参加型遊休農地解消	六次化加工施設整備
	(3) 観光交流の推進	万葉まつりの復活 盆踊り・夏祭り・コンサートの復活 夏祭りイベント(秋の盆踊り・花火) 夏祭りなど休止廃止イベントの復活 牛島地区利活用の夏まつり花火大会 地域資源活用ロケの町づくり 野馬追伝承宵乗り花火大会 牛島・夢の落書き支援事業	日帰り温泉 観光協会備品等倉庫整備 散歩道(ウォーキングコース)整備 温浴施設整備による交流会拡大 定住促進宅地造成事業 SA拡張(温泉、遊歩道、物産販売所整備) 甲冑武者乱舞!野馬追村整備事業(通年観光)
豊かな自然と安心して快適な暮らしを次世代へつないでいくまち（生活環境基盤）	(1) 公共交通の充実	免許返納者など交通弱者の足の確保(巡回バス、みなたく見直し、デマンド交通など)	鹿島駅利用者用一般駐車場整備 鹿島駅前一般駐車場整備
	(2) 消防・防災機能の充実	消防団員確保 自主防災組織基盤強化促進支援制度	多目的グラウンド整備(ポンプ操法利用含)
	(3) 防犯・交通安全の推進		
	(4) インフラの整備の推進		
	(5) 豊かな生活環境の形成		不要資源(ゴミ・バイオ)活用の熱源利用施設 真野川河川敷活用親水空間整備
市民が互いに協力し支え合うまち（協働・コミュニティ）	(1) 市民参加・協働の推進	花いっぱい運動 河川(真野川)敷内でのイベント(いかだ等) 鹿島駅利活用と活性化(図書室・カフェ等) 地域全体での花いっぱい運動	海洋資源を活かした公園整備(牛島利活用) 真野川沿線親水空間整備(憩いの場・遊歩道)
	(2) 地域コミュニティの再生	市民参加イベントのシリーズ化 市民参加のギネス挑戦(かしわ餅・海苔巻き)(2) 市民主体で企画運営のイベント開催 万葉パレードの復活 市民提案型一体感醸成事業 南相馬全市民参加型イベント開催	津波被災地再整備
	件数	48件	32件

市民一体感醸成事業スケジュール

事業名	H30	H31	H32	H33	H34	備考
(仮)健康づくりトレーニングセンター整備事業		実施設計	建設工事	運営	→	
高齢者の集い事業		実施				
市民提案型一体感醸成事業補助金		事業募集	事業募集			
		実施	実施			
(仮)真野川親水サイクリングロード整備事業		測量設計	建設工事	供用	→	
高速道路通行料金助成事業		高速道路利用(～H32.9)				
		助成金の支払い				